

平成27年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495500157	事業の開始年月日	平成23年2月1日	
		指定年月日	平成23年2月1日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家 川崎野川南台			
所在地	( 216-0001 )			
	神奈川県川崎市宮前区野川2340-3			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成27年10月30日	評価結果 市町村受理日	平成28年4月7日	

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?Open>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用様が心身共に健康に過ごして頂く事を目指してケアを実践しています。ご利用様のこれまでの背景、個性、生活を大切にしています。ご家族様と積極的に連携してご利用様がその方らしい生活を送って頂けるよう努めています。またそれらを活かした個別のレクリエーションを提供したり、家事や日課等の役割を持って頂いています。一方で他者との関わりの機会も大事にしています。ご利用者様同士、職員、ご家族様、地域の方々と季節毎の催し等を通して楽しみながら触れ合っています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成28年1月14日	評価機関 評価決定日	平成28年3月3日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR南武線「武蔵新城駅」または「武蔵小杉駅」より市営バスで約20分、「山崎」バス停下車徒歩7分のところにあるグループホームです。名前にあるごとく高台に位置し周囲の眺望も良く、近くからは丹沢や遠く霊峰富士も眺めることが出来ます。建物の周りは広い駐車場と畑なども残っていて、建物は一日中陽が入る静かな住環境です。イベント行う公園や花見を楽しむ桜並木、コンビニも近くにあります。

<優れている点>

利用者の安心、安全な暮らしの支援に取り組んでいます。居室内や電源スイッチ、消火器、外のゴミ箱など7ヶ所の建物内外の防火チェックポイントを定め、朝番と遅番の職員が毎日2回点検しています。災害時の備蓄品を毎月チェックしています。感染症などの予防で全館消毒などの衛生管理の徹底を図っています。居室内では転倒事故防止にクッションマットの敷設や家具の転倒防止の配慮など、日常の医療機関との連携も含め、利用者はもとより家族も安心した毎日が送ることが出来るよう支援しています。庭の一角にプランターを利用した四季の野菜の栽培企画や毎週巡回の移動パン屋も利用者の楽しみとなっています。

<工夫点>

服薬時の事故の防止に、薬に氏名の明記と服薬時に氏名の呼称に加えて、利用者一人ひとりの服薬箱に、利用者の氏名と顔写真の札を入れダブルチェックで誤薬防止の工夫をしています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 川崎野川南台
ユニット名	2U

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある
	<input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/> 3, たまにある
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/> 3, たまに
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている
	<input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない
	<input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I 理念に基づく運営</b>						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	温もりのある我が家を理念に職員一同温かい気持ちでご利用者と接する事が出来るよう努めている。	理念は、開設時に職員が皆で独自に作り上げたものです。玄関や事務所に掲げ周知しています。温もりのある家族的な雰囲気をもっと理念の実践に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	季節の行事等を通じて積極的に地域の活動に参加、また散歩の際挨拶をするなどして日常的な交流を保てるよう留意している。	自治会に加入しています。自治会の盆踊りや近くの公園での「公園体操」に参加し、地域との交流を図っています。中学校の体験学習生や保育園児の訪問で折り紙や歌で楽しんでいます。フラダンス、玉すだれなどのボランティアの訪問もあります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議の場を中心に、周りの方の理解を得られるよう努めている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	概ね2月に一度運営推進会議を開催し事業所の近況や抱える課題などを報告、参加頂いた方から意見を頂き運営の見直しを行っている。	会議は2ヶ月に1回開催しています。メンバーは家族や自治会長、民生委員、保育園園長、地域包括支援センター担当者です。行事などの活動報告や入居状況、今後の行事予定の報告や意見交換を行っています。	工夫によりメンバーの出席率を高め、更なる運営推進会議の活性化を図り、家族や地域の代表者からの意見や情報を求め、事業所の運営に反映されることが期待されます。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業所が抱える課題について主に地域包括支援センターに相談、協力をお願いしている。	運営推進会議の報告や事業所の空き情報などで、行政との連携を図っています。運営推進会議のメンバーである地域包括支援センターを通して、情報交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	危険個所、玄関は施錠しているがそれ以外はご利用者様の意思で自由な活動が行えるよう留意している。 また身体拘束委員会を設置し毎月会議を行っている。	「拘束ゼロの手引き」を事務所に備え、法人の「身体拘束廃止委員会」に参加しています。チェックリストで確認し拘束のないケアに努めています。 不適切な言葉は職員相互で注意をしています。玄関やフロア入り口は安全の為に施錠していますが利用者の外出の際は同行支援をしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	これまで虐待については身体拘束廃止委員会で取り扱っていたが、H27.12より独立して高齢者虐待防止委員会を設置、委員を各階より1名ずつ選出し毎月会議を行い虐待の防止に努める。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市の指導講習会や研修で得た知識を共有し各ご利用者様、ご家族様の状況に合わせたご案内ができるよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	基本的に事前に重要事項説明書、契約書を送付しており、予め目を通して頂いた上でご説明を行い、特に疑問、ご質問があった場合は重点的に説明ができるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を概ね2カ月に1回開催しており、運営に関するご意見、ご感想を頂いている。また毎月ご家族様に管理者と居室担当の職員より手紙を送り運営状況、ご利用者様の現状について連絡しており、その他電話、メール等で意見を伺い運営に反映させている。	家族会を2ヶ月に1回開催し、意見や要望を聞いています。家族会は、族同士および事業所とのコミュニケーションの場となっています。転倒防止で居室内のレイアウト変更と居室内のマットの敷設などは、利用者や家族の要望を反映した事例です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表に直接届く意見箱を設置している。また不定期に匿名回収するアンケートを行っており職員が意見を述べる機会を設けている。事業所内では会議、個別のヒヤリングにて随時職員の意見を取り入れている。	職員の声を反映する、法人トップへの「意見箱」を設けてあります。職員アンケートや悩みの相談窓口が本部にあります。『意見交換ノート』や『ホーム長宛てノート』の備えは、職員の要望で実施した例です。職員の提案で散歩の機会を増やした例もあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員はそれぞれ担当のご利用者様を受け持ち、ご家族様への連絡やケアの方向性に関して担当者として意見、提案を行っている。また行事担当、装飾担当、発注担当など業務を割り当てており、それぞれの能力、個性を活かした働き方ができるよう配慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社内外の研修への参加を呼び掛け、そこで得た知識と技術の水平展開を目指している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修にて他事業所、様々な種類のサービスに触れる機会がある。また配役介助といった注意が必要な業務について他事業所の職員が手順通り行っているかチェックするなどしている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	身体、精神状況をしっかりと把握したうえでご本人様の希望、意向を最大限に反映した生活を送って頂けるよう、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面会時やお電話等でご家族様の心情、ご意向をお伺いし信頼関係を気付けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様、ご家族様の立場に立ってその心情を配慮し、ニーズに応えられるよう各関係機関との連携を取っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	介助を行う際はご本人様の尊厳に配慮して行い、その方の個性や得意分野に眼を向け敬意を持って接するように心がけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様と接する機会には専門職としての知識や意見を押し付けるのではなく、まずご家族様の意向を尊重し必要に応じて助言、提案をする事でより良い関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様のご協力のもとお電話やご面会、外出等でその方の大切な人、場所との接点を保つ事が出来るよう支援に努めている。	友人や知人の訪問の際は居室で湯茶の接待をしています。墓参りや旅行、正月の一時外泊、馴染みの床屋など家族の協力で継続の支援をしています。編み物や塗り絵、和服の着付け、化粧品の買い物など以前の習慣の継続の支援もしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	理念に沿った生活を送って頂けるようご利用者様同士の関係を大事にしている。時には職員が橋渡しを行い、円滑なコミュニケーションが取れるよう留意している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	我々が退居された方の背景の一つになった事を自覚し、その方の今後の生活を親身になって考え、必要に応じて相談、支援を行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	安心して生活を送られているか、何が楽しみとなっていて何か問題を抱えていないか等、日頃の様子を観察し、記録に残し情報を共有する事で多角的な支援を行えるように努めている。	アセスメントの際や、日常会話を通して把握しています。入浴や夜間など1対1の時を利用して把握することもあります。意思表示の困難な利用者は態度や素振りなどのサインを見逃さなようにしています。生活歴や家族の協力を得ることもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	頂いた情報からこれまでのその方の生活歴や馴染みの暮らしをいつも想像しながら接するようにし、これからの生活に上手く取り入れないか模索している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活の様子、細かい変化等を記録し情報共有する事でその方の現状を把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	自らの意向をしっかりと伝えられない場合も日頃の生活の様子からその方の気持ちを汲み取り、ご家族様、職員同士相談し多角的な意見を取り入れる事が出来るよう努めている。	入居時は1ヶ月の暫定プランとして、その後本プランの作成をしています。6ヶ月ごとにモニタリングと評価をし、担当者会議を経て計画書を作成しています。計画書には医療情報や家族の意見も反映しています。担当者会議は、職員や管理者、計画担当者が参加しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活の様子を中心にその方が大事にされている事、嫌いな事、課題等を記録している。またリスクについてヒヤリハットや事故報告書に基づいてカンファレンスを行いケアの実践や見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	事業所内で行っている工夫を他事業所へ報告し合う事で様々な事例、対応を学び、柔軟な支援に繋げている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事への参加、また事業所の行事にご家族様、地域の方々をお招きしご利用様が楽しく、より広い社会の一員である事を認識できる機会を提供している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	各ご利用様は月2回、内科と歯科を受診されている。また体調に変化がみられた際は電話での相談、臨時での受診も受けられる為、安定した健康管理を保たれている。事業所と各医療機関との関係は良好である。	入居時には、本人や家族の了解を得て協力医をかかりつけ医としています。外来受診は原則家族対応ですが、職員が付き添うこともあります。受診内容は「通院、入院、退院報告書」に記録して職員間の情報共有を図り、利用者の体調管理に努めています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日常生活で得られた情報は連絡記録に落とし込み、週に一度の訪問でも看護師がご利用者の現状を把握する事が出来、適切な看護を施せるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は最低週に1度面会へ行き、現場の職員、担当医より話を伺っている。ご家族様とも定期的に連絡を取り情報の共有を図ると共にご利用者様、ご家族様の不安解消に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様、医師としっかりと相談を重ね、最後までその方らしい生き方を選択できるよう努めている。	契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明し、同意を得ています。看取りの診断が出た場合は「看取り介護および加算について」の説明・同意を得て看取り介護計画書を作成し、家族の意向を尊重し主治医や看護師、職員が協力して支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに基づいた対応が落ち着いて取れるよう定期的に指導、確認を行っている。その上で各ご利用者様に合わせた対応について話し合いを行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	運営推進会議にて、地域の方と非難の手順等について話し合いを行っている。消防署の指導のもと避難訓練を定期的に行っている。またその際近所の方に声を掛け参加を呼び掛けている。	防災訓練は年2回、消防署の指導を得て地域住民も参加して実施しています。「防災用品チェックリスト兼在庫表」を作成し、担当者が月1回備蓄品の確認をしています。日常は防災点検7ヶ所を定め、「防災チェックリスト」で1日2回見回りをしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の尊厳やプライバシーを守れるように配慮し声掛けを行っている。	職員は全体会議等において声掛けやスピーチロック、ケアーについて話し合い、利用者の尊厳やプライバシーが十分守れるよう配慮しています。個人情報に関する書類は施錠できる戸棚に保管しています。職員やボランティアは守秘義務誓約書を交わしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションをできるだけ多くとりご希望や自己決定の意思を尊重している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	各ご利用者様のペースに合わせて柔軟な対応が取れるよう努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に訪問理美容を利用して頂き、ご利用者様の意思やご家族様の意向も踏まえ、カットや毛染めなどのおしゃれができる。また衣服の選択、お化粧の準備などその方に合わせた嗜好を取り入れられるよう配慮している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付け、配膳、片づけなどを楽しんで出来るよう声掛けを行っている。食事は一人ひとりの状態に合わせた形態で提供している。また食事レク、おやつレクを行っており、食事の楽しみを持って頂けるよう配慮している。	食事は外部委託ですが、業者から調理担当の人が来て事業所内で作っています。季節行事の献立にも柔軟に対応しています。毎食後、「検食簿」にて味付けや調理具合のチェックをしています。利用者の要望で店屋物を利用することもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	日中勤務時には水分制限されているご利用者様はいらっしゃるが、飲み干された方にはその日の状態によって多めの水分補給をおすすめしている。食事は調理担当が別にいる為量と形態のみ気を付けて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科医、衛生士と連携を取りケアの方法、留意事項について把握したうえで、自立支援を行いつつ、清潔を保てるよう必要な介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	食前、食後など定時にトイレ誘導を行っている他に、日々の観察から行動や排泄パターンを把握し適切な排泄誘導、介助が行えるよう努めている。	起床時や食後の定時誘導と、利用者ごとのパターンを把握した個別誘導を組み合わせて一人ひとりに適切な排泄支援を行っています。夜間も声を掛けて誘導していますが利用者の体調により、パットなどをベッドで交換する場合もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	午前中と午後に体操、ストレッチを行っている。栄養士、調理師、栄養士には毎食后感想や意見を記入する検食簿にて連絡を行っている。ご利用者様の状態によって医療とも連携して改善できるよう配慮している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	決められた時間内での入浴となる為、少しでもストレスを与えてしまわぬよう好きな香りの入浴剤を選んで頂いたり、一緒に歌を唄ったりしている。	浴室にはリフト浴槽が設置され十分な広さと清潔さを保っています。入浴は一人週2回を基本として毎日2名ずつ入浴しています。タオルは事業所でも常備しており、利用者の皮膚の状態を使い分けています。入浴剤を使用し、入浴が楽しめるように工夫しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	状況に応じいつでも居室で休息できるよう支援している。また夜間良眠できるよう日中に体操、散歩、その他レクレーションを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人別の薬表のファイルを作成し、常に職員が確認、把握できるようにしている。また薬剤師の助言や指導を受け、薬の理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの趣向にあった生活の支援をしている。季節毎のイベントや誕生会などを行い、楽しく過ごして頂いている。また役割を持って家事の手伝い等もできるだけ行って頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的には散歩を行っている。また初詣やお花見、地域の盆踊りやお祭にも参加しできるだけ外出して頂けるよう支援をしている。	ゴミ出しを兼ねて散歩に出掛けていますが、日常的な外出支援はこれからの課題となっています。季節行事の外出には初詣や花見、地域の夏祭りへの参加が行われています。保育園との交流もあります。最近家族の協力を得た外食や外出の機会が増えています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に金銭管理はホームにて行っている。ご利用者様にはその点をしっかりとご説明し理解して頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様のご要望や不安時などご家族様のご協力のもと電話をかけて頂き、不安を和らげて頂くよう支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関やフロアに季節の花を飾りご利用者様と一緒に手作りした季節の飾りや行事時の写真をフロアの上壁に飾って会話を楽しませている。	居間兼食堂は整理整頓され、歩行の妨げになるようなものは置かれていません。手作りの飾りや行事の写真を掲示しています。また利用者の希望で花や観葉植物を置いています。「環境衛生管理表」を作成し、共有部分や居室内を清潔に保つよう努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアには食事用のテーブル以外にソファセットがあり、お好きなどころに移動されテレビを観たりお話をされている。お疲れの際はご自身のお部屋で休んで頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様が以前から使用されていた家具や好きな物、ご家族様の写真等を飾り安心して過ごして頂ける環境作りを行っている。	利用者は馴染みのある物や家族の写真等を飾っています。各居室には介護用ベッドや寝具、洗面台、エアコン、クローゼット、照明器具、カーテン、整理タンス、呼び出しコールが標準装備されています。室内は明るく日当たりも良く、掃除も行き届いています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	転倒事故が起こらないようご利用者様の状況に合わせ環境を整えた上で、自由に利用できる共有スペースに新聞や本などを設置している。		

事業所名	グループホームみんなの家 川崎野川南台
ユニット名	1U

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある
	<input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/> 3, たまにある
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/> 3, たまに
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている
	<input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない
	<input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	ホームの理念を玄関、各階スタッフルームに掲示し職員全員がきょうゆうしている。様々な会議の中で再確認し常に念頭におきケアを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	保育園との交流、小学生の職場見学の受け入れ、地域の盆踊り、公園体操への参加等、地域との交流に努めている。また「こども110番」の札を事業所入口に掲げている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事連絡のお知らせを配布する際は直接手渡しし、ぎょうじに参加する際アドバイスを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	概ね2月に一度運営推進会議を開催し事業所の近況や抱える課題などを報告、参加頂いた方から意見を頂き運営の見直しを行っている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	高齢者支援課、生活保護課の担当者と常に連絡をとり困難事例の相談等協力を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月身体拘束廃止委員会を開催。身体拘束の具体的な行為をスタッフルームに掲示し拘束のないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	行動、声掛けの言葉の振り返りを会議、日々の申し送りの中で行い虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市の指導講習会や研修で得た知識を共有し各ご利用者様、ご家族様の状況に合わせたご案内ができるよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	基本的に事前に重要事項説明書、契約書を送付しており、予め目を通して頂いた上でご説明を行い、特に疑問、ご質問があった場合は重点的に説明ができるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を開催し意見を聞くだけでなく、ご家族様の訪問時全職員が対応し会話をしよう努め、その中から思いを汲み取り、情報を共有し適切な運営の反映に努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表に直接届く意見箱を設置している。また不定期に匿名回収するアンケートを行っており職員が意見を述べる機会を設けている。事業所内では会議、個別のヒヤリングにて随時職員の意見を取り入れている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員はそれぞれ担当のご利用者様を受け持ち、ご家族様への連絡やケアの方向性に関して担当者として意見、提案を行っている。また行事担当、装飾担当、発注担当など業務を割り当てており、それぞれの能力、個性を活かした働き方ができるよう配慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	会社内外の研修への参加を呼び掛け、そこで得た知識と技術の水平展開を目指している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修にて他事業所、様々な種類のサービスに触れる機会がある。また配役介助といった注意が必要な業務について他事業所の職員が手順通り行っているかチェックするなどしている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	十分な傾聴を行い、ご本人様に穏やかで落ち着いた生活を送って頂けるようなケアを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様と十分なコミュニケーションを図り意向、希望などをしっかりと傾聴し想いをくみ取れるよう心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族様、ご利用者様との話し合いにて必要とするサービス内容を作成しニーズに応えられるよう心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	心に寄り添った温かいケアを第一に考え、その場に合わせた対応をしている。食事の準備、洗濯などご利用者様同士や職員と協力し合う環境作りを行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様の意見、想いをしっかりと伝え、ご協力頂いている。行事の出欠を毎回確認し皆さままで触れ合える機会を提供している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご友人との御面会、お電話などご連絡を取って頂いている。以前のご職業、生活環境等を考慮しその方にあった御手伝いをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	カラオケやかるたなど多人数で楽しめるレクリエーションを行い、皆様で思い出を共有できるよう写真を撮りそれをフロアに掲示するなどの環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された方でも必要な情報を提供しその方にとって良い環境が継続される様支援している。またお亡くなりになられた方のお墓参りをしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の中で皆さまの一言一言を汲み取り、希望を叶えられるように努めている。皆様の言葉を尊重しケアの方向性を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時以外にもご家族様のご面会の際にはお話を聞き、これまでどのような生活をされていたのか、好みだったのかを把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員内での情報共有を徹底し無理せずその方にあつたペースでケアを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人様、ご家族様、医療関係者の意見や提案を取り入れ、より多角的な視線でその方に即した介護計画を立てられるよう努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	細かい気づきや発見等を個人の中で終わらせるのではなく、申し送りや記録に残しより良いケアの実践に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご利用者様の安全に配慮しつつ、ご家族様や既存の概念に捉われないようご本人様、ご家族様の状態、状況によって柔軟に対応するよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のイベントに参加したり、近隣の保育園と交流を行っている。また町内の理美容やコンビニを利用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月に2回の往診に加え、必要時には臨時受診や、ご家族様協力のもと外部受診も受けられている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医療連携看護師とは良好な関係にあり、連絡表を用いて常に最新の情報交換を行っている。勤務時以外でも電話等で連絡を取り相談に乗って貰っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は最低週に1度面会へ行き、現場の職員、担当医より話を伺っている。ご家族様とも定期的に連絡をとり情報の共有を図ると共にご利用者様、ご家族様の不安解消に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様、医師としっかりと相談を重ね、最後までその方らしい生き方を選択できるよう努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに基づいた対応が落ち着いて取れるよう定期的に指導、確認を行っている。その上で各ご利用者様に合わせた対応について話し合いを行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	運営推進会議にて、地域の方と非難の手順等について話し合いを行っている。消防署の指導のもと避難訓練を定期的に行っている。またその際近所の方に声を掛け参加を呼び掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全体会議、フロア会議内のカンファレンスにて声掛け、ケアについて十分話をして、その方の尊厳を守れるように十分配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に働き掛けを行い、言語的、非言語的にもコミュニケーションを取って思いや意思を汲み取っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人のペースで過ごせるように支援している。一人ひとりに常に寄り添う心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	理美容でのカラー、カットの支援や毎朝服装をチェックしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	日々の食事の準備、盛り付けと一緒にするのはもちろん、イベントでの特別食の提供や出前、昼食、おやつレク等で食の楽しさを提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量は毎回必ず表にてチェックをしており、状態を把握できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後ご利用者様一人ひとりに状態を合わせた口腔ケアを行っている。また、歯科衛生士と連携をはかりご利用者様の口腔状態の維持、向上に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を使用し排泄状況の把握を行い、その方の状態にあった声掛け、誘導を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄、水分量表を使用し排便状況を把握し、水分量の確保に努めている。また温タオルの使用や運動レクを取り入れ予防に取り組んでいる。必要に応じて医療と連携し服薬による排便コントロールを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	気持ち良く入浴できるよう声掛けには充分配慮して取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日のご利用者様の体調を観て休息の時間を提供している。夜間の睡眠が良質な物になるよう日中にレクリエーションを行い身体の活性化に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	お薬表は個人ファイルに整理してキャビネットに保管、職員がいつでも閲覧できるようにしている。医師、薬剤師と連絡をとり相談、指導を受けている。薬による症状の変化に注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	今までの生活歴を活かした個別のレクリエーションや家事などの役割を提供している。子供たちや動物と触れ合える行事を企画して生活の活性化に繋がるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族様のご協力で個別の外出の機会がある。ホームでは庭の手入れ、散歩、日光浴等をして頂いているが、気候の問題や人員不足等もあり十分な時間が取れない事もある。初詣やお花見、お祭りへの参加など行事として機会を提供している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に金銭管理はホームで行っている。日常生活の中で必要な物、ご希望があったものは職員が代行して購入している。水曜日のおやつに移動パンを利用しており、好きなパンを選んで頂いている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様のご要望や不安時などご家族様のご協力のもと電話をかけて頂き、不安を和らげて頂くよう支援を行っている。年賀状や暑中お見舞いはご利用者様に書いて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節毎にご利用者様と壁飾りを作り、季節感を味わって頂いている。また行事ごとに写真を撮って壁に貼り、振り返りながら楽しみを持って頂いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングには食事をするテーブルとは別にソファとテーブルが置いてあり、いつでも一人でくつろいだり他者様と一緒に座られおしゃべりやテレビを観れるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのある物や家族様の写真を置き、安らぎが持てる環境作りを行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	ご本人様の身体状況に合わせ物の配置を変えたり、床に緩衝材を敷いたりして事故を未然に防ぐよう努め、その上で個性や気持ちを尊重し自立した生活を送れるよう支援している。		

平成27年度

## 目標達成計画

事業所名 グループホームみんなの家 川崎野川南台

作成日： 平成 28年 3月 31日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組みについて研修等に参加出来る回数が減ってきている。	1つでも多く、社内外の研修に参加できるようにする。	(1) 社内研修への参加案内、興味をもって頂けるよう努める。 (2) 社内研修への参加率を高め、社外研修へ取り組んでいけるように環境作りを行う。	7ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月